




ASABA



灌水ポンプ




AKP-250D

取扱説明書

このたびは本製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書には、安全に使用していただくための要点を記してありますので、ご使用前に必ずよくお読みになり、正しくご使用ください。お読みになった後は、いつでも読める場所に保管してください。また、本書を汚損したり紛失した場合は、お買い求めの販売店よりご購入ください。

本書に記載した  の表示のある注意事項や、機械に貼られた  の表示のあるラベルは、人身事故等の危険が考えられる重要な項目です。よくお読みになり、必ずお守りください。また、 の表示のあるラベルが、汚損したりはがれた場合は、お買い求めの販売店にご注文いただき、必ず所定の位置にお貼りください。

本書に記載した  の表示のある注意事項や、機械に貼られた  の表示のあるラベルでは、特に重要と考えられる取り扱い上の注意事項について、次のように3段階に分けて表示しています。

- | |
|---|
|  危険…その警告文に従わなかった場合、死亡または重症を負うこととなります。 |
|  警告…その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があります。 |
|  注意…その警告文に従わなかった場合、けがまたは物的損害の恐れがあります。 |

なお、製品の故障や損傷につながる使い方に関する注意事項については、本書に **重要** の表示を用いています。

本書に記載した図記号は、お守りいただく内容を説明しています。



禁止（してはいけない）内容



指示（必ず実行する）内容

目次

1	安全のため必ずお守りください	P.1
2	仕様	P.3
3	ポンプ性能表	P.3
4	梱包部品一覧	P.4
5	各部の名称とラベル貼付位置	P.4
6	運転を始める前に	P.5
7	運転	P.8
8	整備と長期保管	P.10
9	故障と対策	P.11



株式会社 麻場

本社 / 〒381-8530 長野市北長池1443-2

TEL : 026-244-1317

URL : <http://www.asaba-mfg.com>

1

安全のために必ずお守りください

★作業前

危険



・火災の恐れがありますので、燃料補給時は次の事項を必ず守ってください。



・燃料は、エンジンを止めた状態で補給してください。



・燃料補給時は、火気に充分注意してください。



・高温部に燃料がかからないように補給してください。



・燃料タンクの給油口一杯まで燃料を入れしないでください。



・燃料がこぼれたらきれいにふき取ってください。



・燃料補給後、燃料キャップは確実に閉めてください。



・燃料を充填後、本機を傾けると燃料が漏れる恐れがあります。本機は必要以上に傾けたり、落下させないでください。



・燃料を充填後、自動車で運搬する場合は、燃料が漏れる可能性があります。自動車などで運転する場合は、必ず燃料を抜いてください。



・使用時は燃料がこぼれたり、本機が転倒する恐れがありますので、本機は凹凸のない平らな場所に設置してください。



・次に該当する方は、この製品を使用しないでください。

- ・酒気をおびた者
- ・過労、病気、薬物（農薬を含む）の影響その他の理由により、正常な作業ができない者
- ・妊娠中の者
- ・満15歳未満の者
- ・負傷中の者、生理中の女性等農薬による影響を受けやすい者

注意



・作業前に燃料もれがないこと、接続部のパッキンに脱落がないこと、各ネジ部にゆるみがないこと、ホースに亀裂、摩耗、破損のないこと等各部に異常がないことを確認してください。



・安全性を損なう恐れがありますので、改造しないでください。



・サクシオンホース、吐出ホースは、エンジン高温部（マフラ等）に触れなくて、無理な曲げ、よじれ、折れ、引っ張りがなく、特にサクシオンホースはタンクから飛び出さないようタンクに固定してください。



注意



- この製品を他人に貸与、または、譲渡する場合は、必ず取扱説明書を添付し、よく読んでから使用するよう指導してください。

★作業中



警告



- 耳栓、帽子、保護眼鏡、保護マスク、ゴム手袋、長袖の保護衣、長ズボン、ゴム長靴を着用し、危険のない服装で作業を行ってください。



- 運転中および、停止直後のエンジン（マフラ等）は高温になっています。やけどをする恐れがありますので、不用意に触れないでください。



- ハウス内での使用は、人体に悪影響を及ぼす恐れがありますので、よく換気をしてください。



注意



- 散水用途以外には使用しないでください。



- 人体や散水対象物以外のものにかからないよう、風や周囲の状況に充分注意して作業を行ってください。



- 作業中、作業後にめまいや頭痛を生じたり、気分が少しでも悪くなったときは、直ちに医師の診察を受けてください。



- 作業中に各部の清掃、または交換するときは、顔面に水がかかる恐れがありますので、エンジンを停止してから行ってください。



- ホースの温度は、40℃以下で使用してください。40℃以上になりますと、耐圧性能が低下します。



- 使用液は、清水、地下水、河川の水、用水路の水を使用し、農薬、化学薬品、温泉水等は使用しないでください。

重要



- 使用液は、5℃以上40℃未満の範囲で使用してください。



- ポンプ破損の原因になりますので、空運転はしないでください。

★作業後と保管



注意



- 使用後は、充分洗浄し、屋内の直射日光が当たらず、風通しの良い、子供の手が届かない場所に保管してください。

2

仕様

型 式	AKP-250D	
本機寸法 (H×W×L)	340×225×315mm	
質 量	5.3kg	
ポンプ	吸入・吐出口径	25mm (1")
	接続部ネジ	管用平行ネジ (Gネジ)
	最大吐出量	115ℓ/min
	全揚程	35m
	吸込揚程	6m
エンジン	燃料タンク容量	0.65ℓ
	使用燃料	混合ガソリン (混合比 25:1 JASO FC 級) (混合比 50:1 JASO FD 級)
	エンジン型式	D26C 空冷2サイクル
	エンジン排気量	25.6cc
	キャブレタ	ダイヤフラム式 ロータリバルブ
	最高出力	0.74kW(1.0PS)/7500rpm
	点火方式	フライホイールマグネット
	スパークプラグ	チャンピオン CJ6Y (NGK BPM7A 相当品)
	始動方法	アシスト式リコイルスタータ

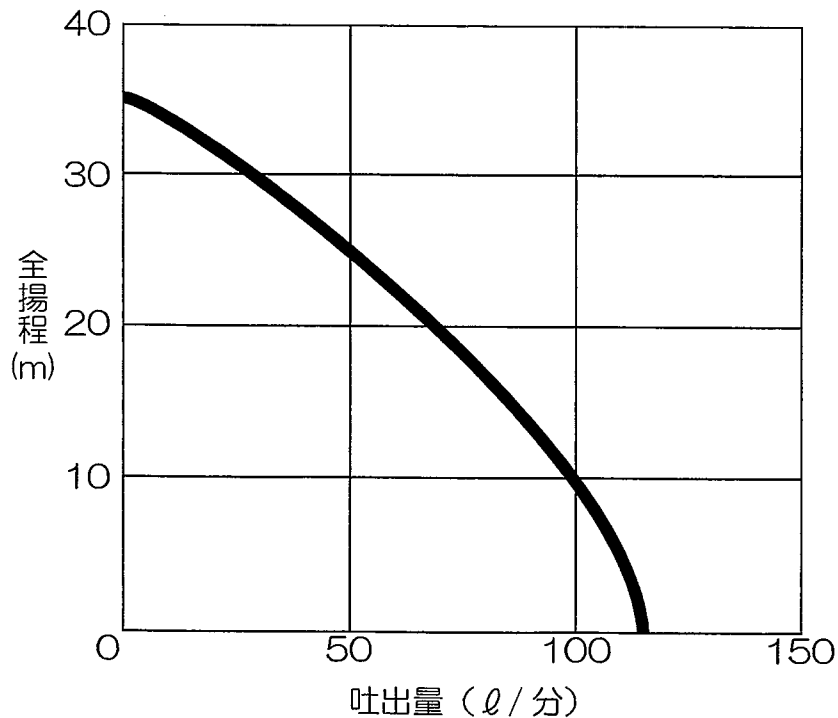
※上記の性能値は清水にて運転したテスト値であり、保証値ではありません。
使用環境によりその値は変化します。

※改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

※潤滑油混合ガソリンには必ずFC等級(JASO)以上をご使用ください。

3

ポンプ性能表



4

梱包部品一覧

最初に、梱包部品が全部そろっているかどうか、輸送中の事故で破損している部品がないかを確認してください。もし、欠品または破損などありましたら、製品名、型式、製造番号と共に、お買い求めの販売店にお知らせください。
保証書は、お客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。お読みになった後は、大切に保管してください。

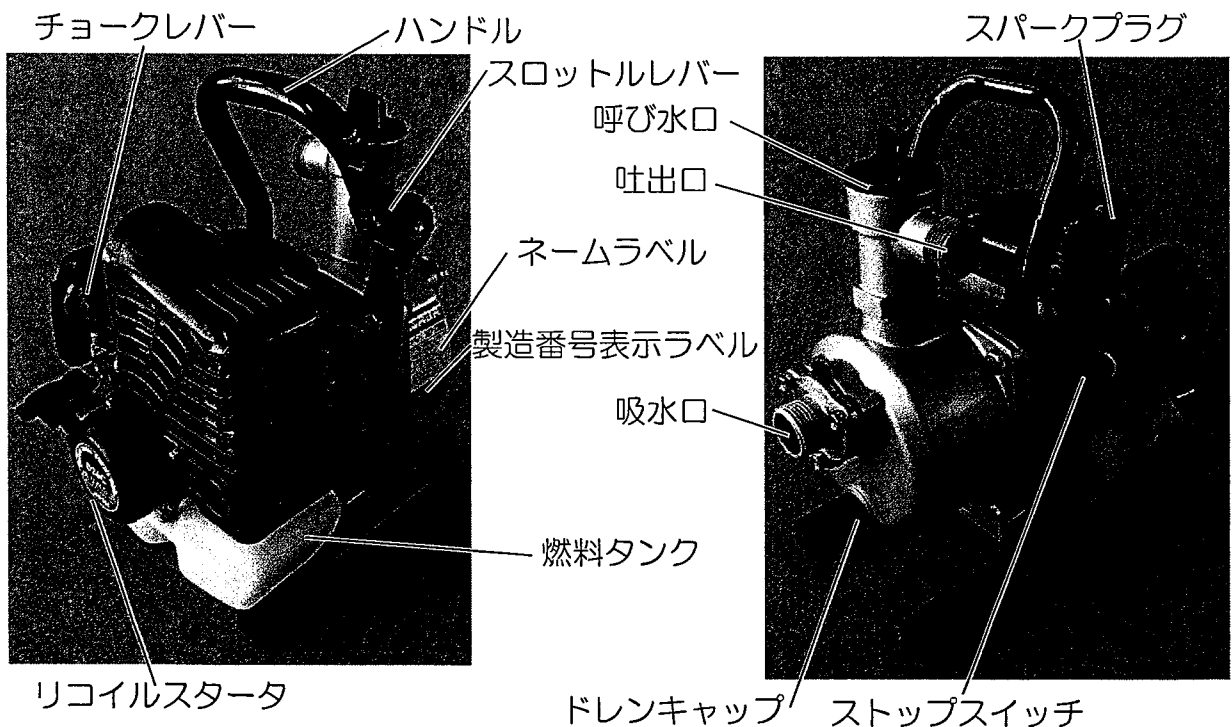
部 品	数 量
本体部一式	1
吸水ホース (3m)	1
ストレナー	1
カップリング	2
ホースバンド	3
コンピボックススパナ	1
取扱説明書 (本書)	1
保証書 (本書末尾)	1



・吸水ホースは本機専用部品です。他製品で使用した場合、ホースの破裂が考えられますので、他製品には使用しないでください。

5

各部の名称とラベル貼付位置



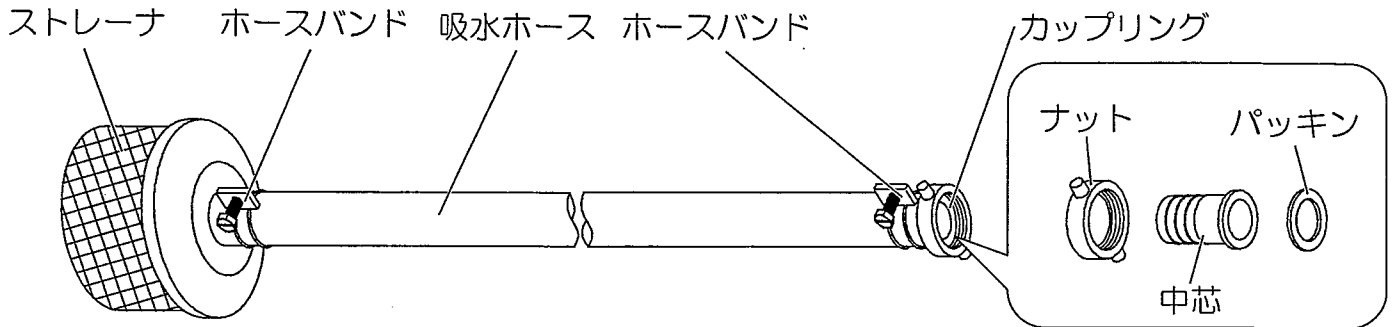
※新しいラベルを貼るときは、汚れをふき取り、乾いた面にして、もとの位置に貼ってください。

6

運転を始めるまえに

① 部品の取り付け

1) 下図のように、吸水ホースにカップリングとストレーナを確実に取り付けてください。



重要

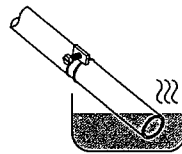


・エア咬み混みの原因になりますので、カップリングとストレーナはしっかり奥まで取り付けてください。また、しっかり奥まで取り付ける為に、以下の手順で取り付けてください。

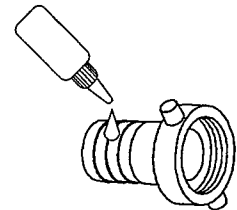
① 吸水ホースにホースバンドを通しておく。



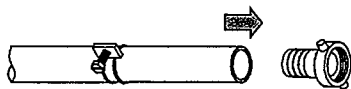
② 吸水ホースを熱湯やドライヤー等で暖め、やわらかくする。



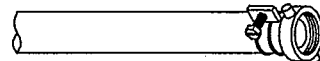
③ カップリングやストレーナのタケノコ部に軽くオイルを塗る。



④ ホースが柔らかいうちに、カップリングやストレーナのタケノコ部に押し込む。
(あらかじめカップリングを本機の吸水口や吐出口にネジ込み、固定しておく、押し込みが簡単です。)

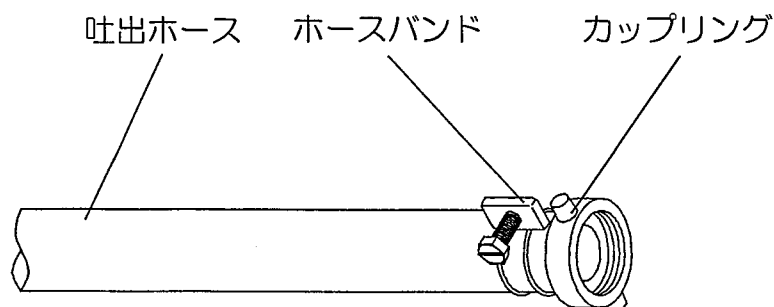


⑤ ホースバンドでしっかりと締め込んで固定する。

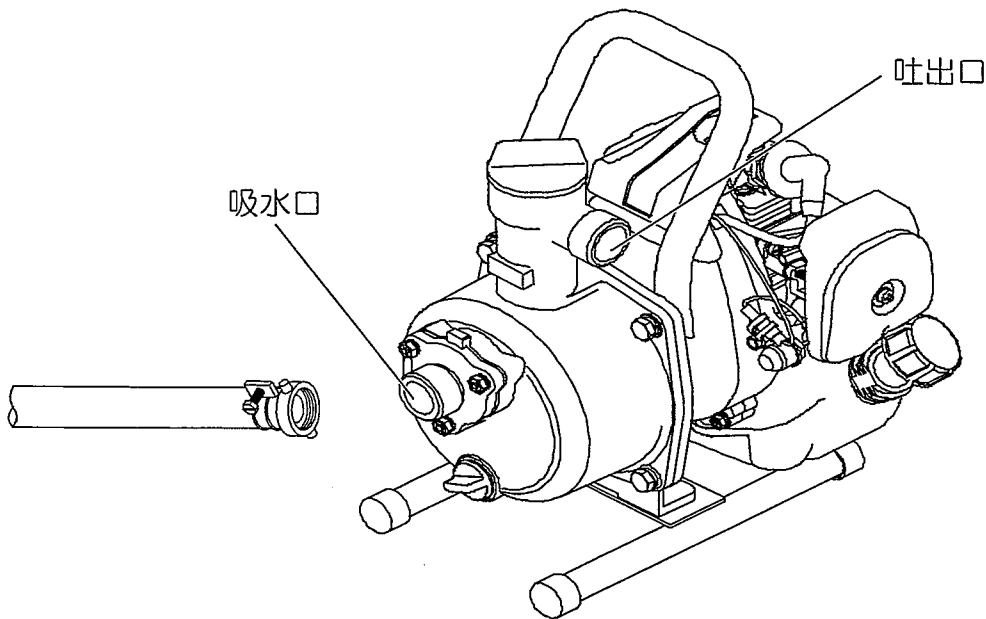


・石やゴミ等を吸い込み、破損する原因になりますので、吸水ホースには必ずストレーナを取り付けてください。

2) 下図のように、吐出ホース（別売り）にカップリングを確実に取り付けてください。



3) 組み立てた吸水ホースと吐出ホースを本機に確実に取り付けてください。



注意



・作業前に接続部のパッキンに脱落がないこと、各ネジ部にゆるみがないこと、ホースに亀裂、摩耗、破損のないこと等各部に異常がないことを確認してください。



・サクシオンホース、吐出ホースは、エンジン高温部（マフラ等）に触れないで、無理な曲げ、よじれ、折れ、引っ張りがなく、特にサクシオンホースはタンクから飛び出さないようタンクに固定してください。

重要



・吸水ホースは確実に取り付けてください。確実に取り付けなければ、吸水しません。

②燃料の充填

1) 燃料タンクから燃料タンクキャップを外します。

2) 燃料タンクに燃料を給油します。

燃料の混合比は以下の割合で混合してください。

①自動車用無鉛ガソリン 25 に対して、FC 等級 (JASO) 以上の 2 サイクルエンジン専用オイル 1 の割合。

②自動車用無鉛ガソリン 50 に対して、FD 等級 (JASO) 以上の 2 サイクルエンジン専用オイル 1 の割合。

3) 給油後は、必ず燃料タンクキャップを戻します。

重要



・燃料は、必ず潤滑油混合ガソリンを使用してください。



・エンジンの性能を十分に引き出すため、使い初めの 20 時間前後は、オイルを多めに入れて (ガソリン : FC 等級オイル = 20 : 1) 慣らし運転を行ってください。



・燃料の混合は、本機の燃料タンクで行わず、必ず別容器を用いてください。



・2 サイクルエンジン専用オイルは必ず FC 等級 (JASO) 以上をご使用ください。

危険



・火災の恐れがありますので、燃料補給時は次の事項を必ず守ってください。



・燃料は、エンジンを止めた状態で補給してください。



・燃料補給時は、火気に充分注意してください。



・高温部に燃料がかからないように補給してください。



・燃料タンクの給油口一杯まで燃料を入れしないでください。



・燃料がこぼれたらきれいにふき取ってください。



・燃料補給後、燃料キャップは確実に閉めてください。



・燃料を充填後、本機を傾けると燃料が漏れる恐れがあります。本機は必要以上に傾けたり、落下させないでください。



・燃料を充填後、自動車で運搬する場合は、燃料が漏れる可能性があります。自動車などで運転する場合は、必ず燃料を抜いてください。



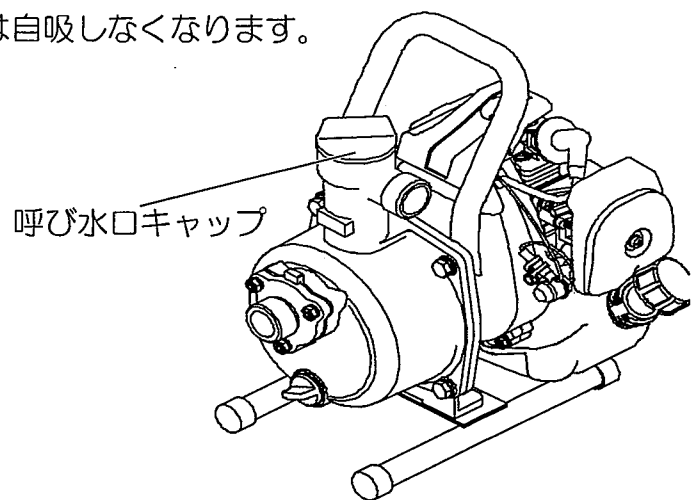
・使用時は燃料がこぼれたり、本機が転倒する恐れがありますので、本機は凹凸のない平らな場所に設置してください。

③呼び水の給水

このポンプは自吸式ですので、運転前には必ず呼び水口より水を給水して、ポンプ内を満水の状態にしてください。

呼び水が不足すると、自吸性能が低下、または自吸しなくなります。

- 1) 吸水ホース、吐出ホースを接続し、吸水ホース先端のストレーナを水源に入れます。
- 2) 呼び水口キャップを外して、呼び水口より水を給水し、ポンプ内を満水にします。
(給水の際、本機を揺らすと空気抜けが良くなります。)
- 3) 呼び水口キャップを戻します。



重要



・呼び水は必ず行ってください。呼び水を給水せずに運転するとシール部分が焼損し、ポンプの破損の原因となります。

7 運転

①始動（エンジンが冷えている場合）



- ・始動前に、吐出ホース先端に障害物などがいないかことを確かめた上、エンジンを始動してください。

重要



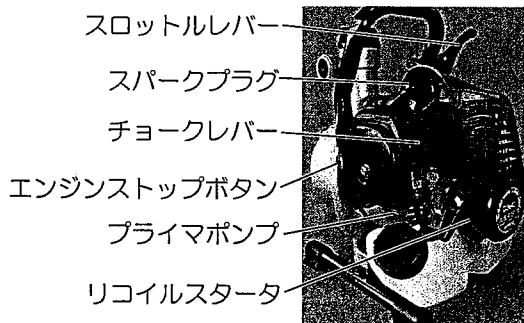
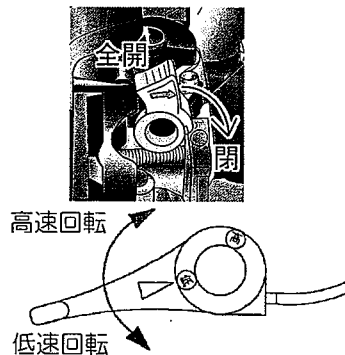
- ・始動前にポンプ内に呼び水が満水であることを確認してください。



- ・吸水ホース先端のストレーナが水中にあることを確認してください。（水底が泥・砂状の場合、ポンプに吸入しないよう、ストレーナを水底より浮かせる等保護措置をとってください。）



- ・ウォーターハンマー現象にご注意ください。ポンプ運転中に吐出ホースを踏んだり、吐出側のバルブを急激に締め切ったりすると、瞬間的に大きな圧力がポンプケース内にかかります。これはウォーターハンマー現象と呼ばれ、ポンプ破損の原因となります。



- 1) プライマポンプを、4～5回繰り返し押し込んで燃料を供給します。
- 2) スロットルレバーを、低速回転側（アイドル回転側）に合わせます。
- 3) チョークレバーを、『閉』の位置にします。
- 4) 本機が倒れないようにエンジンを手で押さえ、リコイルスタータを引っ張り、混合気をシリンダに吸い込ませます。改めてリコイルスタータを引っ張ると、エンジンは始動します。
※）アシスト式リコイルの為、勢いよく引っ張る必要はありません。
- 5) エンジンが始動したら、低速回転で1～2分間暖気運転を行ってください。暖気運転が終了し、スロットルレバーを低速回転側から高速回転側へ操作すると、チョークレバーが自動的に『全開』になります。

②再始動（エンジン暖まっている場合）

- 1) 運転停止直後に再始動するときは、チョークレバーを『全開』にして始動します。始動しない場合は、エンジンが冷えている場合の始動方法を始めから行ってください。

重要



- ・リコイルスタータのロープは、一杯に引ききらないでください。



- ・引いたロープを手離さないで、静かにもとに戻してください。



警告



・耳栓、帽子、保護眼鏡、保護マスク、ゴム手袋、長袖の保護衣、長ズボン、ゴム長靴を着用し、危険のない服装で作業を行ってください。



・運転中および、停止直後のエンジン（マフラ等）は高温になっています。やけどをする恐れがありますので、不用意に触れないでください。



・ハウス内での使用は、人体に悪影響を及ぼす恐れがありますので、よく換気をしてください。



注意



・散水用途以外には使用しないでください。



・人体や散水対象物以外のものにかからないよう、風や周囲の状況に充分注意して作業を行ってください。



・作業中、作業後にめまいや頭痛を生じたり、気分が少しでも悪くなったときは、直ちに医師の診察を受けてください。



・作業中に各部の清掃、または交換するときは、顔面に水がかかる恐れがありますので、エンジンを停止してから行ってください。



・ホースの温度は、40℃以下で使用してください。40℃以上になりますと、耐圧性能が低下します。



・使用液は、清水、地下水、河川の水、用水路の水を使用し、農薬、化学薬品、温泉水等は使用しないでください。

③停止

- 1) スロットルレバーを低速回転側に戻します。
- 2) エンジンストップボタンを押して、エンジンを止めます。

重要



・ポンプの空運転は故障の原因になります。作業中、整備点検中を問わずに、30秒以上は行わないでください。

④使用後のお手入れと保管

- 1) ドレンキャップを外し、ポンプ内の残液を排出します。
- 2) 燃料タンクの燃料を抜いてください。燃料タンクを空にした後、プライマポンプを数回押して、キャブレタ内の燃料を抜いてください。



注意



・使用後は、充分洗浄し、屋内の直射日光が当たらず、風通しの良い、子供の手が届かない場所に保管してください。

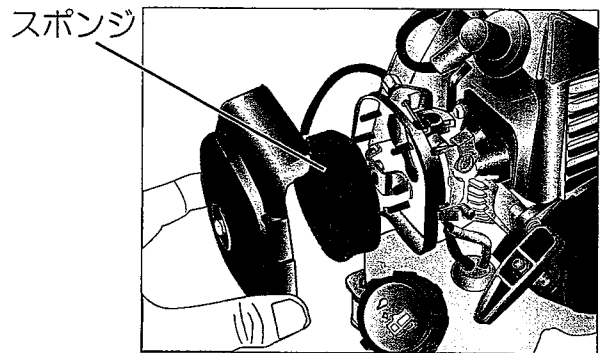
8

整備と長期保管

* 日常のお手入れは、《運転》の④使用後のお手入れと保管をご覧ください。
整備に関してのご不明な点は、お買い求めの販売店にご相談ください。

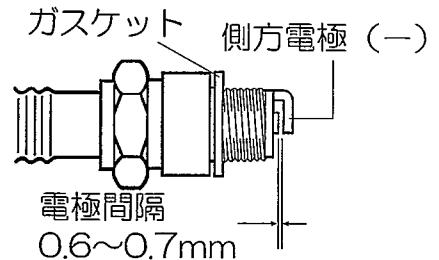
① エアクリーナ

エアクリーナ内のスポンジが汚れていると、吸気が不安定となり、エンジンの性能が十分に発揮されません。時々、エアクリーナを外し、スポンジをガソリンまたは、洗油で洗浄し、固く絞ってから取り付けてください。



② スパークプラグ

50時間の運転を目安に、スパークプラグの点検清掃を行ってください。ワイヤブラシ等でカーボン堆積物を除去し、電極間隔を0.6~0.7mmに調整します。著しい汚れ、欠損がある場合は、スパークプラグを新品に交換してください。指定スパークプラグは、チャンピオン CJ6Yもしくは相当品 (NGK BPM7A等) です。



③ 配管、その他



- ・ホース、接続部に、ヒビ、割れ、漏れがないかを確認します。異常がある場合は、速やかに交換してください。

④ 長期保管

長期間 (60 日以上) に渡って本機を使用しない時は、次の事項を実施してください。

重要



- ・冬期間の凍結防止のため、タンク、ホース内の水を抜き、更に、ドレンプラグを外し、ポンプ内の水を抜いてください。



- ・燃料タンクの燃料を抜いてください。燃料タンクを空にした後、プライマポンプを数回押し、キャブレタ内の燃料も抜いてください。



- ・スパークプラグを外し、スパークプラグ孔から4~5滴のエンジンオイルをシリンダに流し込みます。リコイルスタータを数回引いて、オイルをシリンダ内に行き渡らせた後、ピストンを最上点で止め、スパークプラグを付けます。



- ・プラスチック部品は、直射日光に長期間さらされると、著しく強度が低下する事があります。また、ラベルも変色したり、はげやすくなったりしますので、保管には充分注意してください。



- ・ホース、接続部に、ヒビ、割れ、漏れがないかを確認します。異常がある場合は、速やかに交換してください。

9

故障と対策

※印の不具合対策に関しては、お買い求めの販売店にご相談ください。
 その他、不明な点は、販売店にご相談ください。

①ポンプ

現象	原因	対策
ポンプが回らない	エンジンが正常に回らない	「②エンジン始動不能、または、始動困難」を参照する
	インペラが錆びている	※
	インペラに異物がかんでいる	※
吸水時間が長い、または、吸水しない	空気を吸っている	吸水各部の点検及び増し締めする
	呼び水不足	ケーシング内に呼び水を追加する
	メカニカルシールの不具合	※
	エンジン回転数不足	回転数を上げる
	吸水高さが高すぎる	水源に近い位置にセットする
	吸水ホースが潰れている	吸水ホースを交換する
	ストレーナ、ホースのつまり	掃除する
吸水量不足、または吐出量不足	空気を吸っている	吸水各部の点検及び増し締めする
	エンジン回転数不足	回転数を上げる
	吸水高さが高すぎる	水源に近い位置にセットする
	インペラが摩耗している	※
	吸水ホースが細い	吸水ホースを太いものに交換する
	インペラに異物がかんでいる	※
	ストレーナのゴミつまり	ストレーナの点検、掃除する

②エンジン始動不能、または、始動困難

現象	原因	対策
キャブレタまで燃料が来ていない	燃料タンクに燃料がない	燃料を給油する
	プライマポンプの未操作	プライマポンプを操作する
	燃料チューブ、フィルタの詰まり	燃料チューブ、フィルタの清掃、曲がりを矯正する
	燃料タンクキャップの通気孔の詰まり	燃料タンクキャップを清掃する
スパークプラグに火花が飛ばない	スパークプラグの不具合	スパークプラグを新品と交換する
	スパークプラグが汚れている	スパークプラグをワイヤブラシ等で清掃する
	スパークプラグの電極間隔が不適	スパークプラグの電極間隔を 0.6 ~ 0.7mm に調整する
	スパークプラグキャップ不良、またはスパークプラグコード断線	※
	点火装置不具合	※

現象	原因	対策
爆発の兆候がない	チョークの開きすぎ	チョークを閉じて始動する
	キャブレタの詰まり、または調整不具合	※
スパークプラグが濡れている	チョークの閉じすぎ	スパークプラグを乾燥させ、チョーク全開で再始動する
その他	キャブレタオーバーフロー	※
	マフラの詰まり	※
	燃料、オイルの不適切	規定の燃料、オイルを使用する

③エンジンの回転不調、または、出力不足

現象	原因	対策
エンジンが異常に加熱する	燃料不適切	規定の燃料を使用する
	冷却不足	冷却風通路、シリンダフィンを清掃する
	スパークプラグの不具合	清掃、電極間隔の調整、交換をする 正規の熱価のスパークプラグを使用する
	燃焼室にカーボンが堆積している	※
スパークプラグに飛ぶ火花が弱い	スパークプラグの不具合	清掃、電極間隔の調整、交換をする 正規の熱価のスパークプラグを使用する
吸、排気系の不具合	エアクリーナが汚れている	エアクリーナを清掃する
	キャブレタの詰まり、調整不具合	※
	マフラの詰まり	※

④エンジン運転中に停止する

現象	原因	対策
運転中、急停止する	ピストンの焼き付き	※
	スパークプラグの短絡	スパークプラグを清掃、電極間隔の調整をする
エンジン回転が次第に下がり、やがて停止する	燃料切れ、または、不足	燃料を給油する
	キャブレタの詰まり、調整不具合	※
	燃料内異物混入	※
エンジン回転が急激に上がり停止する	燃料切れ、または、不足	燃料を給油する

⑤エンジン停止が困難

現 象	原 因	対 策
エンジンストップボタンを押してもエンジンが停止しない	エンジンストップボタンのアース不具合	配線の点検、交換をする
	スパークプラグ先端部の赤熱	スパークプラグの清掃、電極間隔の調整、交換をする 正規の熱価のスパークプラグを使用する
	ディーゼリング	※

動力噴霧機保証書 (大切に保管してください)

この度は弊社製品をお買上げいただき、誠にありがとうございます。

弊社では、本製品を末永くご使用いただくため、保証業務を行っております。

1. 本製品は、厳密な品質管理と検査を経てお届けしたのですが、万一保証期間内に、注意ラベル、取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合は、商品に本保証書を添えて、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
2. 保証期間内でも次のような場合は、有料修理になります。
 - ・ご使用上の誤り、及び、不当な修理や改造による故障、又は、損傷。
 - ・火災、地震、風水害、雷、その他天災地変、塩害、公害や異常電圧による故障、又は、損傷。
 - ・消耗部品（パッキン、Oリング等）の損耗交換時の部品代及び、修理代。
 - ・保管状態が適当でない場合の故障、又は、損傷。
 - ・本保証書のご提示がない場合。
 - ・本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を弊社の承認を得ることなく修正した場合。
3. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
4. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

※本保証書に記載された内容のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するもので、本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理等についてのご不明な点は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動および、その後の安全活動のためにご利用させていただく事がございますのでご了承ください。

型 式 **AKP-250D**
(MODEL)

製造番号

保証期間 お買上げ 年 月 日より
1年間 (但し、消耗品は除く)

お 客 様

フリガナ

お名前

ご住所 〒

TEL

取 扱 販 売 店

店名/住所/電話

修理メモ



株式会社 **麻 場**

本社 / 〒381-8530 長野市北長池1443-2

TEL : 026-244-1317

URL : <http://www.asaba-mfg.com>